

HPCI-CPD578 と HPCI-CPD578N の違い

CPDシリーズ・モーションコントロール・ボードである8軸位置決めHPCI-CPD578ボードをベースとしたHPCI-CPD578Nボードの追加変更機能について記します。

追加機能であるマスタ追従機能，並行2軸制御機能，スレーブ軸拡張機能が追加されています。

本葉中ではHPCI-CPD578NをCPD578Nと呼びます。

1. 追加変更機能一覧

追加変更機能	HPCI-CPD578	HPCI-CPD578N
エンコーダ入力周波数	4 M c p s (4 通倍)	6. 5 M c p s (4 通倍)
エンコーダ入力終端	ジャンパ設定	D I P スイッチ設定
リミットセンサ，S V / I F 入力フィルタ (±ELS, DLS, OLS, SVALM, INPOS)	1 0 0 0 μ s	3 0 0 μ s
マスタ追従機能 ※	—	あり
並行2軸制御機能※	—	あり
スレーブ軸拡張機能 ※	—	あり
オプションポートクリアレジスタ	なし	あり (+ a 8 H にてリセット)
ボード I D	ジャンパ設定	ロータリー D I P スイッチ設定
J 3 コンパレータ一致出力	8 軸 (X ~ B) ポート (8 a H) にて ON/OFF 有り	4 軸 (X ~ U) ポート (8 a H) にて ON/OFF 無し
J 3 同期入力出力	—	あり (A 相, B 相 各 1)
J 3 定速動作中 (または汎用) 出力 (T T L)	—	あり (X 軸, Z 軸 各 1)
P C I 供給電源	+ 5 V	+ 5 V, + 3. 3 V
PRMD (動作モードレジスタ) の bit29 追加	—	CPD578N 個別ボード編にて解説
RENV5 (環境設定レジスタ 5) の bit11 追加	—	CPD578N 個別ボード編にて解説

2. 新規追加機能について

追加機能	仕 様
マスタ追従機能	X 軸のエンコーダ入力または同期パルス入力をスレーブ軸 (X ~ B) の指令パルスとして出力が可能
並行2軸制御機能	X 軸をマスタ軸とし，X 軸の指令パルスがそのまま Y (Z, U 軸) から同期出力として出力可能
スレーブ軸の拡張	Z 軸をサブマスタ軸とし，Z 軸の指令パルスがそのまま U (V, W, A, B) 軸から同期出力が可能